



努力

思いやり

笑顔と感動あふれる吹上中

## ■ 「どうせ無理」という言葉に負けない！ 植松 努

うえまつとむ

植松 努さんは、北海道の小さな町にある、従業員18人の電気会社の社長さんです。植松さんの会社は、以前はリサイクル関連の仕事を行っていましたが、15年前にロケット開発を始め、今やその優れた技術力により、小さいながらもその分野では有名な会社です。社員の多くが、高校卒業後はアルバイトなどをしていて、いわば「ロケットの素人集団」ですが、今では国の専門機関の人たちと対等に研究を行えるくらい頑張っているとのこと。

以下は、1年生の道徳の教科書に載っている、植松さんが書かれた文からの抜粋です。

「やったことがないからできない」という言葉は、使ってはならない言葉です。人は、やったことがないことと、知らないこととしか出会わないのです。「俺なんか無理」と考えるのは簡単なことですが、それは美しい謙遜ではなく、楽をするための言い訳でしかありません。人生はいくらでも変わるんです。「やったことがないからできない、知らないからできない」と言い訳をしてしまう人たちは、成長する可能性を失ってしまいます。だから何度でも言います。「どうせ無理」は、この世からなくしたほうがいいんです。

年末・年始には、勉強、運動、習い事、希望進路、人間関係などなど、今年の自分を振り返り、新たな年の誓いや志を立てたいものです。「どうせ無理」という言葉に負けず、今年の冬は、私もこれまで途中であきらめてしまった事に再挑戦したいと思っています。

保護者・地域の皆様におかれましても、どうぞよいお年をお迎えください。

## ■ 友との絆、夢、郷土愛…様々な絆(たすき)が つながられています！

### <その1> 校内駅伝大会 ~つないだのは「友との絆」~

11月13日(水)、今年で14回目となる校内駅伝大会を、市総合運動公園で実施しました。どのクラスも、優勝を目指し、懸命に絆をつなぎました。走る生徒の真剣な表情と、その姿を熱心に応援する仲間の声援に、爽やかな感動を覚えました。大会運営にご協力をいただいたPTA役員の皆様、会場にて応援をいただきました保護者の皆様に、心から感謝申し上げます。



[絆にクラスの思いをたくす]



[1年優勝 1年3組]



[2年優勝 2年2組]



[3年優勝 3年2組]

### <その2> 吹上地区一周駅伝 ~つないだのは「地域の絆」~

12月1日(日)、今年で56回目となる地区駅伝大会が開催されました。多くの小・中学生が、地域の方と一緒に大会に参加する姿から、絆とともにふるさとを思う心が世代間で受け継がれていく様子が見られ、吹上地区の絆の強さを改めて感じました。



[スタートラインに向かう吹中生]

### 〈その3〉安全を学んでいます ～つなぎたいのは「危険の察知と命を守る行動」～



[傘さし運転事故の元]



[事故原因を考える生徒]

#### ① 交通安全教室

10月31日（木）、安全教育の一貫として、JA栃木様、JAしもつけ様、栃木警察署様のご協力により、本校校庭で交通安全教室を行いました。当日はスタントマンが事故を再現して、交通事故の恐ろしさや、交通ルール遵守の大切さを学びました。



[不審者を押さえる教員]



[講話を聴く生徒]

#### ② 不審者対応避難訓練

11月19日（火）、栃木警察署スクールサポーターの尾花様、船渡川様を講師にお招きして、不審者対応避難訓練を実施しました。当日は、危険物を所持した不審者が校舎内に侵入したと想定し、教員が対応する間に生徒が体育館に避難する訓練を行いました。

### 〈その4〉キャリア・デザイン講座 ～つないだのは「今の自分と未来の自分」～

11月7日（木）、キャリア教育の一貫として、栃木県教育委員会教育委員の工藤敬子先生を講師にお招きして『中学生のためのキャリア・デザイン講座』を、1年生を対象に実施しました。「幸せな生き方・働き方をデザインするのはあなた自身」という工藤先生の言葉に、生徒からは「自分の頑張り次第で将来の幸せが決まると思いました。」「夢をあきらめようと思ったこともあったけど、今日の話聞いて、また頑張ろうと思えました。」といった感想が聞かれました。



[講話を受ける1年生]

### 〈その5〉小さな親切運動 ～つないだのは「他者への優しさ」～

11月16日（木）、「小さな親切運動 第45回栃木支部表彰式」が栃木東中学校で開催され、本校からは3年生徒1名が表彰を受けました。

本生徒は、家族との関わりを通して感じた、困っている人へ手を差し伸べる親切の大切さを作文に書き、優秀賞を獲得しました。



[表彰を受ける増山さん]

### 〈その6〉生徒会あいさつ運動 ～つなぎたいのは「本校生が大切にしてきたもの」～

本校生が毎日通る、誰が名付けたか「あいさつ坂」。かつては、この坂で交わす本校生のあいさつの声が、遠くしめじがはら標茅原まで響いたとか…。

本校伝統の「元気なあいさつ」を継承していこうと、何年も前から、毎週月曜の朝、生徒会役員が全校生へ「あいさつ運動」を行っています。本校が大切にしてきた気風を、これからも全校生徒で継承して行って欲しいと願っています。



[あいさつ運動を行う生徒会役員]

### 〈その7〉教職員も修行中 ～つなぎたいのは「教える力・学び合う同僚性」～

本校では、指導力向上のため、全教員が1年間に1回以上研究授業を実施しています。研究授業は吹上小や千塚小にも連絡し、小学校の先生方も参観してくださっています。また、放課後には授業者と参観者が意見を交換し、授業改善に役立っています。先生方も、日々、修行中です。



[二人の教員による授業・保健]



[他校からも多数参観・道徳]



[栃木市教育委員会を招く・数学]



[意見交換・放課後の研究会]